

アフリカ仏語圏地域 妊産婦の健康改善(行政官対象) Improvement of Maternal Health for French-Speaking African Countries (for government officials)		継続
対象国の条件 : 仏語圏アフリカ諸国		
研修コース番号 : 201984450-J002		
案件番号 : 201984450		
主分野課題 : 保健医療/母子保健・リプロダクティブヘルス		
副分野課題 : 保健医療/保健医療システム		
使用言語 : 仏語		
案件概要		
国際社会の共通目標としてミレニアム開発目標に続きSDGsが設定され、世界各国は目標達成に向かって取り組んでいる。しかしながら、アフリカ地域では保健に関連した目標、特に妊産婦死亡率の改善に関する指標の進捗が遅れがみられる。本研修では、妊産婦死亡率削減等の有効性が確認された日本の保健施策や特に保健システムの観点からの母子継続ケアの概要を紹介し、参加者が活動する行政区域における妊産婦・新生児に関するケアが向上することを目標とする。		
目標／成果		対象組織／人材
【案件目標】 参加者が当該国の「妊産婦の健康改善」に貢献するため、「継続ケア」の概念をもとに、国際的な視点や日本・他国の参加者の経験を共有し、自らもしくは所属する組織が実施できる活動が明確化される。		【対象組織】 中央あるいは州レベルの保健行政機関
【成果】 1. 各国の妊産婦・新生児の健康に関する課題を分析し、「継続ケア」の概念が整理される。 2. 日本の保健システム、母子保健政策、制度、現場での実際の活動を理解する。 3. 1, 2を踏まえ、それぞれの国の母性・新生児保健サービスの経験を共有、協議し、自国の課題への対策が整理される。 4. 自国の妊産婦・新生児の健康改善に関し、参加者もしくは参加者の所属組織が実施するアクションプランが作成される。		【対象人材】 ・中央あるいは州レベルで妊産婦保健プログラムの計画もしくは実施に関わる行政官 ・中央あるいは州レベルで妊産婦保健プログラムの計画もしくは実施に関わる行政官として5年以上の職務経験を持つこと ・医師、看護師、助産師に相当する医療専門職であること
内 容		2019/7～2019/8
1. 各国の母性・新生児の健康に係る課題の分析 2. 各国で分析した母性・新生児の健康に係る課題を発表および参加者間で共有 3. 妊産婦の健康改善のための取り組みのグッドプラクティスの紹介 4. 日本の保健システムの紹介 5. 日本の母子保健に関する歴史、政策、制度の紹介 6. 日本の「継続ケア」の現場視察 ・医療施設の緊急産科ケア体制 ・医療施設と行政機関の連携 ・医療施設や行政機関、コミュニティにおける予防啓発活動 ・医療施設へのアクセス改善、リファラルシステムの構築、妊産婦の数及び状態を把握するための仕組み 7. 日本の現場視察の振り返りを行い、参加国の現状と照らし合わせながら、実施可能な活動について協議 8. 研修内容を振り返り、妊産婦・新生児の健康改善について、参加者の所属する組織の活動計画に照らし合わせ、それを補完するための実施可能な活動についてまとめる		本邦研修期間
		担当課題部 人間開発部
※なお、本研修では、研修を通じた「知識共創（Knowledge Co-creation）」の実現を図るために、アクティブラーニングメソッドを導入予定です。		所管国内機関 JICA東京（人間計画）
		関係省庁
		実施年度 2017～2019
主要協力機関	国立国際医療研究センター	
特記事項及びホームページ	国立国際医療研究センター（NCGM） http://www.ncgm.go.jp	